

イプシロンロケット試験機による
惑星分光観測衛星 (SPRINT-A) の打ち上げについて
(内閣府特命担当大臣 (宇宙政策) 談話)

本日、イプシロンロケット試験機による惑星分光観測衛星 (SPRINT-A) の打ち上げが成功いたしました。

イプシロンロケットは、我が国がこれまで培ってきた独自の固体燃料ロケット技術を継承し、即応性などの優れた能力を有するものです。

今般、初の打ち上げが成功したことは、我が国宇宙輸送システムの自律性確保の観点から意義が高く、同ロケットが今後、基幹ロケットの一つとして重要な役割を担っていくものと考えます。

また、惑星分光観測衛星 (SPRINT-A) が順調に観測を行い、所要の成果をもたらすことも期待します。

これまでの関係者による御努力に敬意を表するとともに、引き続き、内閣府特命担当大臣 (宇宙政策) として、宇宙開発利用に関する取組を積極的に推進してまいります。

平成 25 年 9 月 14 日
内閣府特命担当大臣 (宇宙政策)
山 本 一 太